

ふりかえりプリント 9月第1週⑤

答えのらんをうしろにのってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

① 計算をしましょう。

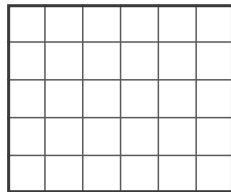
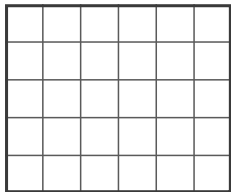
$$5 \times 8 = \boxed{} \quad 7 \times 5 = \boxed{}$$

$$9 \times 9 = \boxed{} \quad 4 \times 3 = \boxed{}$$

$$6 \times 2 = \boxed{} \quad 8 \times 7 = \boxed{}$$

② 筆算でしましょう。

$$213 \times 3 \quad 124 \times 4$$



③ 84まいのおり紙を6人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいですか。

答え

④ 一億を10こ集めた数を、数字で書きましょう。

答え

B 図形・測定

① 正方形の4つの辺の長さは、どうなっていますか。

答え

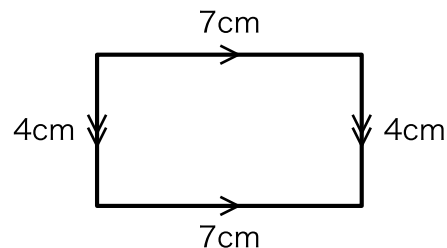
② 二等辺三角形で、長さが等しい辺は何本ありますか。

答え

③ 直角3つ分の角は何度ですか。

答え

④ 長方形です。まわりの長さは何cmですか。



答え

C 数とデータ

① かっている生き物しらべの表です。いちばん多いのは何ですか。

生き物	犬	ねこ	魚
人数(人)	11	14	6

答え

② ①の表で、犬とねこを合わせて何人ですか。

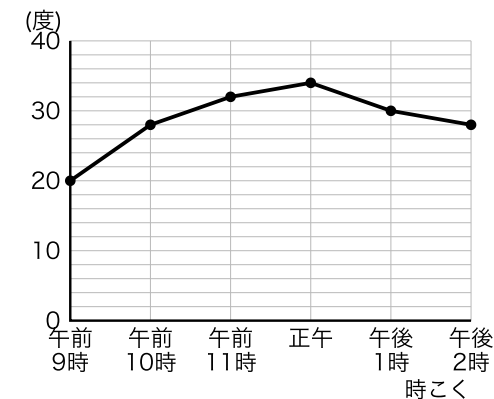
答え

③ 2.5を10倍した数はいくつですか。

答え

④ 体育館の気温のグラフです。気温が28度になるのは、何時と何時ですか。

体育館の気温



答え

こたえ (おもて)

A

- ① $5 \times 8 = 40$
- $7 \times 5 = 35$
- $9 \times 9 = 81$
- $4 \times 3 = 12$
- $6 \times 2 = 12$
- $8 \times 7 = 56$
- ② $213 \times 3 = 639$
- $124 \times 4 = 496$
- ③ 14まい
- ④ 1000000000 (十億)

B

- ① みんな同じ長さ
- ② 2本
- ③ 270度
- ④ 22cm

C

- ① ねこ
- ② 25人
- ③ 25
- ④ 午前10時と午後2時

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

9月 第1週 (5まい目)
| ①=2年 ②=3年
③④=4年

4-09-1-5 v8



まちがいを見つけたら教えてください

けん玉^{だま}

名前

音読サイン

ゆうかがけん玉^{だま}を始めたのは、六月^{ろくがつ}のとだった。玉^{たま}を大皿^{おおざら}に乗^のせるところまではできるようになったが、そこから先^{さき}へ進^{すす}めない。もしかめをやろうとすると、玉^{たま}はいつも横^{よこ}にすべって落^おちた。

「ひざを使いよるね。」おじいちゃんが、えんがわから声^{こえ}をかけた。「玉^{たま}を上げ^あるんやない。体^{からだ}を下^さげるんよ。」ゆうかには、言^いっている意味^{いみ}が分^わからなかった。それでも、ひざを軽^{かる}く曲^まげてみた。

曲^まげたひざをのばすと、玉^{たま}がふわりとうかんだ。今^{いま}までよりゆっくりに見^みえた。ゆうかは、玉^{たま}が落^おちてくるのを目^めで追^おいながら、もう一度^{いちど}ひざを曲^まげた。かたい音^{おと}がして、玉^{たま}が中皿^{ちゅうざら}に乗^のった。

「今^{いま}のやろ。」おじいちゃんが笑^{わら}った。ゆうかは返事^{へんじ}をせず^ずに、また玉^{たま}を大皿^{おおざら}に乗^のせた。同^{おな}じことを、もう一度^{いちど}やってみ^みたかった。さっきの、ひざをのばす感^{かん}じが、手^てのひらにまだ残^{のこ}っている。今^{いま}なら、体^{からだ}がおぼえているうちにもう一回^{いっかい}できる気^きがした。

(1) 「もしかめ」とは、けん玉のわざの名前です。

「わざ」の意味に合うものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア 決まったやり方の動き

イ 道具の名前

ウ 練習の場所

エ 人の名前

(2) ゆうかが、なかなかできずにいたことは何ですか。一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア 玉を大皿に乗せること

イ けん玉を持つこと

ウ もしかめをすること

エ ひざを曲げること

(3) おじいちゃんは、玉を上げるのではなく、どうすればよいと言いましたか。文しようから五字で書きぬきましょう。

(4) さいごにゆうかが返事をせず、また玉を大皿に乗せたのは、どんな気持ちからだと思いますか。

書くときのポイント

「ゝから。」の形でおわらせる。

「もう一度」「同じこと」など、文しようの言葉^{ことば}を使^{つか}う。

こたえ (うら)

問1 ア

問2 ウ

問3 体を下げる

問4 (例) できたやり方をもう一度たしかめたくて、早く練習したい気持ちだったから。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答えとびったり同じなら○。
問4は〈もう一度やってみたい気持ち〉が書けていれば○。

4-09-1-5 v8

4年 物語文